

# 次期体操競技界を担う選手

岡崎秀人・藤本 俊・新井重信

---

## ●要約

本研究は、次期体操競技界を担うであろう一人の若い選手に注目し、現在の演技構成を分析することで北京オリンピック以後の日本選手の可能性を探り、今後の強化策の一助とすることを目的とした。

その結果、ゆかの演技においては、既に世界のトップクラスに肩を並べるレベルにありメダルを狙える位置にいること、あん馬、跳馬、平行棒、鉄棒の演技においては、若干難度を引き上げ、実施面においても姿勢的、技術的に意識し安定した演技を心掛ける必要があること、つり輪の演技においては、世界の選手たちと比較すると現時点でA得点には大きな差があることが明らかとなり、その差を少しでも縮めるために演技価値点としてカウントされる技の難度を上げつつ体力強化を含めたトレーニングが必須の課題であることが明らかとなった。

また、若い選手たちにおいては早期に課題を見出し長期的な視野に立った育成・強化の体制が望まれる。

## ●キーワード

男子体操競技

ポスト北京2008

演技構成

育成・強化